

歯科医院におけるエックス線画像診断のコツ-パノラマと歯科用 CBCT を中心に-



泉 雅浩
画像診断科（歯科） 診療科教授

歯科診療においてエックス線画像診断は不可欠であり、特にパノラマX線撮影や歯科用コーンビームCT（CBCT）は日常臨床で広く活用されています。しかしながら、これらの画像には特有の限界や注意点が存在し、それらを十分理解せずに読影すると誤診につながる可能性があります。本講演では、「歯科医院におけるエックス線画像診断のコツ-パノラマと歯科用CBCTを中心に」と題し、日常診療で役立つ10個のポイントについて解説いたします。パノラマに関しては、前歯部がボケやすいことや、軟組織・障害陰影が診断の妨げになること、パノラマ画像特有の特徴について整理いたします。また、CBCTに関しては、軟組織描出能の限界、広範囲撮影時の画像の歪み、金属アーチファクトによる偽病変の出現など、臨床上注意すべき点について概説いたします。本講演を通して、歯科医院における画像診断の精度向上と安全な臨床応用に役立つ実践的知識を共有したいと思います。

【略歴】

1989 年 3 月 長崎大学歯学部卒業
1989 年 4 月 長崎大学歯学部歯科放射線学講座 助教
1997 年 2 月 長崎大学歯学部歯科放射線学講座 講師
2001 年 1 月 愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座 講師
2002 年 2 月 愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座 准教授
2012 年 6 月 テキサス大学健康科学センター 在外研究員（2013 年 5 月まで）
アメリカ退役軍人管理局研究部門 研究員（2013 年 5 月まで）
2017 年 4 月 神奈川歯科大学歯学部画像診断学分野 准教授
2021 年 10 月 神奈川歯科大学附属病院 画像診断科 診療科教授（現在に至る）

* 主な所属学会等

特定非営利活動法人 日本歯科放射線学会
一般社団法人 日本顎関節学会
一般社団法人 日本口腔インプラント学会
日本シェーグレン病学会
日本歯科人工知能研究会